

議員と語ろう

- ・議員と語ろうにご参加いただきありがとうございました。

11月18日（月） 7時～

会場	参加人数
伊根町福祉センター	16名
朝妻コミュニティセンター	6名

11月19日（火） 7時～

本庄地区コミュニティセンター	14名
滝根公民館	2名

- ・参加者アンケート

- 学校統合や観光客のマナーの問題や色々課題を考えていくこと
- 興味のある内容でした
- 議会報告会より「会話」ができる状況ではないでしょうか
- 町民の本音が出るいい話し合いでした。
- 良い意見交換ができてよかった
- 参加者さんの町について思っていることが聞けたこと。議員さんと直接、思いを伝えることができること。参加者さん同士で考えるきっかけができること。伊根町全体の抱える課題を聞けたこと
- このような機会をありがとうございました
- 今日は参加者が16名と多かったので、いろんな意見が聞けて良かった
- 議題を観光対策に絞り、皆さんの意見を引き出していけた。議員の皆さんの個人的な意見も出していただき相互理解ができたかと思う。逆に言えば、より総合的な意見を取り扱うことも必要であったかと思う。
- 伊根の問題を知れた
- 若い人が活発に意見が出て、聞けて良かった
- 色々な話を聞くことは良いと思った

- 議員・町民の意見を様々聞くことができて良かったです。伊根町の将来についてもっと考えていきたいと思いました
- 他の地区の問題がわかった
- 地区によって異なるさまざまな問題を共有できる良い機会だった
- 今回に限らないが、議員ごとの分かりやすい具体的なマニフェスト・公約を明確にうちだしてくれたら良いかなと思います。元々、議員のみなさんが何を目指して、何を達成しようとしているのか分からないので相談や共感がしづらい気がします
- 観光の伊根町に於ける経済的波及効果について今一つ分からなかった
- 好きなことをしゃべれるので良かった。議員さんも自分の考えをしゃべってくれたのがよかった
- 今後も続けてほしい
- スクールバスの件はよろしくお願いします
- 役場の担当者も参加すればいいのでは
- 地域の皆様は色々な思い・意見があることが伺えられた！これからの行政は町民に来てもらうべきでなく、行って話を聞くことが求められると感じました
- ありがとうございました
- 役場職員との会を開くのもアリですが、こういう形のほうが意見など出やすいとは思いますが。個人的にも情報集めの場としてもありがたい（役職上、知っておくべき内容など、皆さんの意見も含めて）
- 今日出た意見を反映してほしい
- 住民、行政の橋渡しとして頑張ってください
- 町民と議員と心をつなげて、町づくりについて考えていくことが大事だと改めて思いました。町民の代表として立っていただいているので“町のことを他人事のようにならないように”こういった交流の機会は必要だと思いました。本庄保育所の休園については、もっと丁寧に話を進めていただけるように議題に取り上げていただきたいです
- これからもこういう機会に若者が増えることを楽しみにしています
- 区民との直接対話の形式は大切だと思う
- とても良いと思います
- 良い事だと思う
- こういう企画は良いと思う。議員さんと話す機会がないので。またLINE などオンラインで

も気軽に会話ができる仕組みができれば良いなと思います。この時間にとくに女性や主婦は参加しづらいので

○ラフな服装で良かったと思います

○多方面からの参加者が多くあれば良いが、伊根地区の方が皆無

○1つくらいはテーマがあっても良い（議員さんからの話題提供）

行って話を聞いてこようと思っている人ばかりだと「語ろう会」にならないこともあると思う

●伊根地区

質問・意見等

○○伊根町の駐車場問題○○

- ・議会だよりに「連休時の平田地区への渋滞対策」とあるが、平日でも渋滞が頻繁におこっている。
- ・一時、地域整備課の職員の方が来て助かっていたが、今は元に戻り渋滞がおこることが多くなっている。
- ・契約している七面山駐車場の近くまで帰ってきたのに、そこから30分以上帰れないこともある。
- ・駐車場が満車になり、次に空くまで渋滞がずっと続いている。
- ・七面山駐車場近隣にアンケートを取っていて、今までの駐車場の体制を変える・電光掲示板の案内の設置の話も上がっているとも聞いたが、その後の報告や見解がない。
どうするのか住民に声をかけて報告をしてほしい。
- ・車もだが、狭い車の通る道が歩行者天国のようになってしまっていて危ない。
- ・鳥屋の何人かの人が渋滞時、仕方なく交通整理をしているところを何度か見た。
本当に大変なことになっていると気の毒だった。
行政も議員も現場を見に行っていて欲しい。
- ・車で伊根町に来る半数が外国人のため（日本人ではない）運転の仕方も配慮にかけていて余計に渋滞がおこる。

また、観光客が慣れていないのに大きな車で細い道に入ってくる事がとても多く、そのため渋滞が頻繁におこっている。

- ・一方通行にしてもほとんど関係なしに入ってくる車が多く、途中で気づき反転してまた渋滞がおこることも多い。
- ・親戚に「連休時、車が大変なので来ない方が良い」と言いたくないが言っている。
- ・鳥屋、八ヶ崎の渋滞時の現場を目の当たりにすると、本当に大変だと思った。
早急に行動に起こすなり、住民の方の声を聞き、顔を合わせての話し合いが必要だと思う。
- ・車が家の前まで行けず、中学校のあたりに停めて自宅へ帰るしかなかったこともある。
- ・七面山駐車場と他の中心部から離れた駐車場の値段が同じであれば七面山駐車場が混むのも当たり前。
- ・昔と比べると、土日の交通整理の方が混雑状況がひどすぎてか、イライラしている人が増えたと感じる。それだけストレスになる状況にあるのだと思う。
- ・今の伊根町では観光客のインフラ体制は限界を迎えている。

〇〇渋滞に関する住民からの解決策案〇〇

- ・七面山駐車場の値段を高くして（例.1日5千円～1万円、30分1000円）、大西の駐車場など利用が少ない駐車場の値段を安くし観光客を誘導するのはどうか？
- ・交通整理の人が立っていても、観光客から外国語で話されると言葉が通じず、そこでまた渋滞がおこる。

どの国の人が見ても分かりやすい混雑状況、空車状況を電光掲示板を使い知らせる等、観光客を誘導するシステムを入れる時がきていると思う。

そうすると、看板条例の見直しも必要になると思う。

Q.完全に一方通行になればまた緩和されるだろうか？

議員) 公道を一方通行にするには法改正が必要になる。住んでいる人も一方通行になってしまう。以前、それでもいいか住民の方に聞いたところ、それは困るという事でなくなった。自治体で一度話し合い、役場へ伝えるのが良いのでは。

- ・今の状況を見ると受け入れ態勢が破綻している。このままだと、どんどんひどくなるだ

け。

小学校のグラウンドも使えないとなると、新しい駐車場を作るか、入場制限をかけるか、どちらかに舵を切るときだと思う。

Q.ただ観光客に入場規制がかけれるのか？

議員) 法的な規制は無理なので、あくまでもお願いになると思われる。

となると、新しく駐車場を作るしかないのでは？

Q.駐車場を新しく作るとしてどこに作るのか？

議員) 小学校の統廃合問題もあるので伊根小学校を別の場所に移すか、統廃合をして今の小学校を駐車場にするのが一番手っ取り早いと思われる。

- ・伊根小学校を駐車場にするなら、入り口と出口をうまく作らないと車の出入りの時に渋滞が起こる可能性があるので、そこを気を付けないといけない。
- ・半分グラウンド、半分駐車場はどうか？（この意見には反対意見が多かった）
- ・グラウンドを駐車場にするなら子供達の遊ぶ場所がなくなるので、遊べる場所を考えていかなければならない。
- ・朝妻小学校や日出の分校跡地などに大きな駐車場を作り、ピストンバスで観光客を町内へ送るというのはどうか？

〇〇役場が乗り口のパークアンドライドについて〇〇

Q.パークアンドライドは浸透しているのか？

議員) パークアンドライドは京都 DMO が試験的にやっていることで役場は関わっていない。

- ・パークアンドライドをせっかくやっているのであれば、活用したほうが良いと思う。
- ・案内標識ができ、少しは分かるように改善したようだが、日本語で「パークアンドライドやっています」と書いても、レンタカーで多く訪れる外国人にとっては、何かが書いてあるのか分からない。日本人でもパークアンドライドがなんなのか分かる人はほとんどいないだろう。日本人・外国人が見てもわかる看板が必要だと思う。

〇〇看板条例について〇〇

- ・電光掲示板をするにしても、パークアンドライドの看板にしても看板条例に引っかかるのでは？
- ・看板条例の内容をもう一度考え直してほしい。伊根町で商売する人にとっても、観光客にとっても大事な事。

議員) 看板条例は議員でも可決したことだが、看板条例の特例などを作り解決できればと考える。

〇〇空き家、移住に関して〇〇

Q 各区長に頼み空き屋調査をした。不動産が2軒出来たので、そこと手を組んでやってはどうかと意見を伝えたがなんの反応もない。

議員) 民間業者と行政が、民間の利益が発生することにどこまで手を組んでいけるかという問題があると思う。

- ・他の市町では民間業者と手を組んでいる所もある。やっていくべきでは？前向きに検討しているように感じない。
- ・本当に移住者を増やしていくのであれば、前向きに民間業者と手を組むべきでは？

Q. 泊の別荘地帯は伊根町の持ち物ではないからと除外するのはおかしいのでは？

住んでいるのは伊根町民なので、除外するのはおかしいのではないか。

議員) 別荘地は町外の会社が管理している私有地ということで、町は住み分けをしている。

(実際住んでいる移住者の方の意見)

- ・空き家を活用して移住者を増やしていければと思っているが、伊根町がそういった支援に消極的なのは隣接する市町と比べても明らかで、移住促進特別区域に入っている支援対象の可能性はあるが、伊根町のHPには情報が一切入っていない。

HPに載っていないと気が付くこともない。京都府の出している補助で伊根町に負担がかからないものでさえ、なぜ用意しないのか？

伊根町は空き家を購入する時は補助が出るが、貸家の場合、例えば水回りなどを直す時など補助がでない。

若い世代はすぐ購入とはいかないため、金銭面で移住しづらい。

若者に移住を望む施策なら補助メニューは必要だが、京都府内で伊根町だけがそれをしていないという事は、移住に対してかなり消極的に感じるし、これからも変わる様子はなく諦めに入っている。

議員) 伊根町に7～8年住んで定住を望む若者がいるが、補助金の対象にならなかった。

今後この事については行政に対して話し合いが必要だと思っている。

(実際住んでいる移住者の方の意見)

- ・現在、伊根町に住んで5年目だが今までそういった補助は受けていないし、そういった補助があることも知らなかった。舟屋の物件も購入したが、特に補助は受けていない。

伊根町へ移住したいというメッセージをよくいただくが、どこに相談すればよいか教えてほしい。

議員) 企画観光課。空き家バンクにはあまり物件がなく賃貸もない。ハードルがとても高いのが現状。

町営住宅は若い世代しか住めないこともあり実際、町外に住んで伊根町へ通う方もいる。今後、定住促進を考えるのであれば議会でも話し合い、産業建設委員会という常任委員会があるので、テーマとして取り上げ協議していければと思う。

議員) 補助金に頼らず覚悟を決めて移住してこられ、最初は住宅に何年間か住みながら、町民の方と交流し空き家を譲ってもらう。

そういう経緯で住み始める方は、定住してくれる方が多いと聞いた。

昔は伊根町にも手厚い補助金制度があったが、補助金で住み始めた方のほとんどが今は伊根町に住んでいないと聞く。そういういくつかの事例により補助金制度に消極的なものもあると聞いた。

議員) 不動産が入り、誰でもかれでもよくわからない移住者の方が引っ越してくることに不安もあるのだと思う。はじめは住宅などに住み、人となりを知り、住民の方が空き家を紹介するというのは、町民の方も安心ではあると思う。

綾部の志賀郷町の事例で、志賀郷の人口がどんどん減る中で、地元の年配の方達が立ち上がり「子宝ネット」という団体をつくられた。

移住希望の方を面接し、合格された方には住むところから働き口まで、とにかく落ち着いて住めるようになるまでサポートをされていた。

住みはじめてからすぐに町の方と密に繋がり、このサポートを受けた方のほとんどが定住し、地元の住民の方と力を合わせとても仲良くやっておられる。今も移住者が増え続けている。

「子宝ネット」はその後 NPO が引き継ぎ、そして今は役場が引き継いで続いている。そういった関わり方もあるのだと思ったし、住民の方達も安心できるのではと感じた。

〇〇おためし住宅について〇〇

- ・以前は住む方が挨拶に来られていたが、今は何もないので誰が住んでいるか分からず不安。何かあった時どう対応したらいいか悩む。
- ・今はアルバイトの仮の宿になっていて、近隣の住民の方に説明がされてないのであれば問題ではないか？

議員) 3ヶ月の本来のお試し住宅の使い方をしていたとき、1名は定住されたがその後、ほとんどの方が仮の別荘のような使い方をされた。

3ヶ月後に定住するそぶりもない人達が増えたため、「おてつ旅」など短期でバイトされる方の住まいに変更になった。

費用対効果としては良いと思う。

近隣の方に挨拶をするのは努力義務になるので、今後話し合いをし、ルール作りをしていけば解決できるのでは？

〇ごみ問題について

Q.議員の方はごみ箱の設置についてどう思われているか？

議員) 朝、暗いうちから舟屋の里など、ごみ箱の掃除をしてくれていた方たちも高齢になり、今もごみ箱が少ない中、新たに設置するのはいろいろなごみが集まってきて大変な事になると思う。

昔、ごみ箱が伊根町からどんどん無くなった時、どうなるのか心配であったが思ったよりはひどくならなかったと思った。

だからといって、ごみがないわけではないが自分の家の周辺は町民の方が自分たちで処分してくれている。

逆に今、ごみ箱を置くとごみが集中して大変な事になると思うので、このままごみ箱は設置しない方が良いと思う。

大半の人はごみ箱がないので、ごみは持って帰っているように思う。

議員) ごみ箱があろうが、なかろうが、ごみを捨てる人はどこにでも捨てる。

ごみ箱はいらないと思う。

議員) ごみ箱を設置すると一日中、巡回してごみ箱を見て回る人が必要になってくると思う。

だからいらないと思う。

- ・地域住民の方が散歩しながらボランティア精神でごみ拾いをしてくれている。

地域の人の良心で保たれている。

- ・毎日ごみを回収してくれるシステムができれば、ごみ箱はあったほうが良いと思う。

- ・昔、役場に設置してあったごみを分別してポイントがたまる機械を設置すれば、子供達も楽しめるし、ポイントでごみ袋などがもらえると町も盛り上がると思う。

- ・ごみ問題に関しては、駐車場問題ほどではない。

ごみはある程度、自分達で処理ができるが、渋滞の問題は自分達ではどうにもならない。

〇〇伊根町の観光税について〇〇

Q.伊根町で観光税をとってはどうか？船に乗る人、宿泊する人、伊根町に来て買い物をする人など。

議員) 民間事業者の中には、すでに伊根町でやり始めているところもある。行政でもできる方法を考えてやっていけばよいのでは？

- ・どういう形で儲けたお金を住民に返していくかが大事になってくる。

お金で自治区に還元したり、住民の方々にどんな形がよいか聞いて考えていくのもよいのでは？

〇〇町が観光に力を入れていることについて〇〇

Q、町長が伊根町の観光業の強い所を伸ばしていくという考えをずっと貫かれていますが、その点に関して、議員の方はどう思われているのか。

議員) 観光客が増える事で住みづらくなり、観光で直接儲けに繋がらずメリットがない住民の方が多いと思う。

しかし、将来的な事を考えると、伊根町の子供達がまた伊根町に戻って働こうと思えるのは、今世界中の人達や、日本全国から伊根を目指して来てくれて、他にはないこの舟屋の景観・自然豊かな伊根町での可能性に気付く人が増えたからだと思う。

移住者の方も少しずつ増えはじめ、若い人も帰ってきて、お店も増えた。

今の伊根町を見て、子供達もここで何かやりたいと思い帰ってきてくれる子が増えればいいと思う。

昔から思っていたことが今、形になってきているので、この潤ってきている現状を子供達が見る事はとても良い事だと思っている。観光客が増え続けると色々な問題に直面すると思いますが、この流れで少しずつ本庄地区や筒川地区、朝妻地区も潤って欲しいと思っている。

「まずは伊根地区から」と町長がおっしゃっていますが、確かに本庄地区も宿ができ始め、忙しくされる方も出てきた。

町外の方が新井崎に空き家を購入された話も何軒か聞いている。じわじわと伊根地区から伊根町全体へと広がってきていると感じている。

なかなか空き家を買わずらいと言う事もあるが、私はそれでも良いと思っている。

人口が減ってきているのもそれが原因かもしれないが、誰でも買いやすいという事ではなく、信頼関係を築いたうえで土地を譲ってもらうという経緯があった。

だから、今の魅力的な伊根の町並みが残っていると思う。

観光に力を入れる事は良い事だと思うが、住民の方達が住みづらくなったり、産業関係への力の入れ方がおろそかになってしまったり、住民の方達が我慢をし続けるような事はあってはならない。

ここまで観光客が増え続けていることは、伊根町でも初めてのことでなかなか解決策を見つけ出すのも大変だと思う。誠意と情熱をもって、住民の方の声を聞き、話し合い、

行動に移していく。そして問題が起これば解決できるよう努力をしなければならない。
議会としてもこういった交流の場を設け、行政に伝え続けていかなくてはならないと思う。

議員) こんなにチャンスがある場所はないと思う。年間40万人近い観光客がきていて、起業できるチャンスがある。若い人に起業して欲しいと思っている。
たくさんのチャンスが伊根町にはある。

議員) 私はこれ以上、観光に力を入れなくていいと思っている。

ここまで観光を伸ばしたことは高く評価するが、交通・駐車場の問題・飲食・宿泊施設もパンクしており、ほどほどだったらよかったが、これ以上はいいと思う。

伊根町は漁業、農業の町であり、今一番盛り上がっているのは観光だけであり、漁師、農家も一緒に暮らしている。そういう面では限界を超えていると感じる。

伊根地区の子供達は自然の中で育つことができてないと思う。

観光客・外国人が増え、遊ばせるのにも不安があり遊ぶ場所がないと言われる中で、これ以上、観光に力を入れるのは危険な気がする。

議員) 私は賛成。

伊根町にはまだまだ”伸びしろ”がある。自分の生まれた町でビジネスチャンスがあるというのは非常に良い事だと思う。

それと同じくらい住民ファーストで考えなければならない課題があり、そのせめぎ合いが起こっている。

町民と行政が顔を突き合わせ、誠意をもって話し合い、行動に移せばこの問題は解決できと思っている。

若者、子育て世代の人口流出に歯止めをかけるのは今が最大のチャンスだと思っている。

いつか観光が廃れるかもしれないが、ここでしっかり礎を築き、伊根町にとって上質な観光客をこの時期にしっかりと捕まえる。

これからも末永く伊根町が栄えて行くことを目指すべき。

○その他

- ・住民から不満が出るのは、人口が少なくなり、ソフトボール大会や色んな楽しい行事が減っ

たからだと思う。楽しい事が増えれば不満もある程度は減ると思う。

人口を増やそうとしても、伊根地区には移住者が住める住宅が確保できない。

テレビを見て伊根町へ憧れ、移住することを希望に来て、なかなか伊根地区には住めない。

伊根地区には住めなくても、伊根地区以外には住める所もあるので、そこに住んでもらって伊根町の良さを知ってもら。そういった方に向けた補助金が出るように考えてはどうか？

・「伊根町の空き家をプレゼント」など、目を引く面白い政策を提言してほしい。

議員) 伊根地区は山も荒れ熊の危険もあり、カロビも立ち入り禁止、観光客が多すぎて危険、など本当に子供たちが遊べる場所が減った。

子供達が野山で遊ぶには、朝妻地区、本庄地区、筒川地区になるが、その地域の山でさえも熊の危険があり山に入るのは危険になってきていると思う。

安心して伊根町の野山で遊べる場所を作ってはどうか？

山を1つフェンスで囲い、害獣が入れないようにし、森林の整備をして筍や山菜がとれるようにするなど。

最近では持続可能な自給自足の村（エコビレッジ）作りが注目を集めているので、広くエコビレッジ造りの参加者を募集し、その方々に山やフェンスの管理などもしてもらって給料を支払い住んでもらうのはどうか？

エコビレッジの見学に全国からも来られると思う。

地元の人は無料。観光客からは入場料をもらい新しい施設としても運営できると思う。

議員) 農泊はインパクトが弱いと思う。本庄地区、筒川地区の方へ観光客を引っ張るには変わった政策を打ち出しても難しいのではないかな？

議員) 河来見を上から見るとほとんどが空き家。家が倒壊していたり。

あの状態になるまでに何かしらの空き家対策をしないといけないと思った。

・運動会も人数が減ってきているが「区民運動会」でなく、「町民運動会」にして町全体で運動会をすれば面白いとおもう。

議員) 運動会への思いも年齢層でバラバラなところがある。

町民運動会はできると思うが、誰が提案するのかという事になってくる。

地域コミュニティーの継続という部分で考えればいいと思う。

●朝妻地区

質問・意見等

- 本庄保育所の統合の話は聞いているが地元で説明がない
- 町道の側溝に落ち葉が溜まっている。雨が降ると道路が溢れかえっている。道路清掃をされている方がおられるが、役場に道路状況等、報告するようなことは出来ないのか
- 泊地区から新井までの、のろせ海岸道路が半年以上通行止めとなっている。早く通れるようにして欲しい
- 町道の電線に竹や木が倒れてきている。かざし切りをしてほしい
- 本庄診療所がなくなる。本庄・筒川がどう思っているのか聞いてみたい。このような状況の中、本庄・筒川の将来の展望が聞いてみたい
- 年金暮らしの方を呼び込んでみたらどうか。議員さん方々に夢や未来ある展望を描いてほしい
- 伊根町には多くの観光客が来ている。経済効果・財政について教えてほしい。このように多くの観光客が来るようになったが、いつまで続くか心配する
- 新井の漁師の方はよそから来た人が多い。子供も多い。住宅を建てれば良いと思う
- 今後、小学校の統廃合の話も出てくると思うけど、議員の皆さんには慎重に考えて頂きたい
- 議員の方も年を取ってくる。自分たちが年をとっても良かったと思える様な整備をしてほしい
- 野菜作りのことで、町内で交流会みたいなことは出来ないのか
- 山に入って山遊びがしたいけど、今現在は山に入るとダニに咬まれたり、クマやイノシシ、シカが出るから何とかしてほしい
- クマ対策はこれまでどおりか、およがしておくだけなのか

●本庄地区

質問・意見等

○○伊根地区の交通と駐車場問題○○

- ・根本的な問題で、駐車場が狭いから渋滞が起こっていると思う。
- ・3連休の時、伊根中学校から伊根小学校の三差路まで下りるのに40分かかった。
こういった渋滞を緩和する政策を考えてほしい。
- ・ゴダイができると分校の駐車場が使えなくなるのでは？そうすると駐車場の確保がさらに難しくなるのではないか？
- ・鳥屋道も警備員が配置されているが、一方通行でもどんどん車が入ってきている。
入口・出口に立っていても意味がない状態と言わざるを得ない程、車が入り渋滞が起こっている。
- ・警備会社でもだいぶ指導はしていると聞いたが、外国人は言葉が通じず車が入ってくる。
無線を持って片方の車を止めるなどしてもらわないと、いつ事故が起こってもおかしくない状況。
道は狭いし、車は大きいし動けなくなっている。とても迷惑している。
何とかして欲しいと、周辺の住民が大勢言っている。
役場にも何年も言い続けているが、全く改善されていない。
役場の方は一回この状況を見に来るべき。この状態をちゃんと見て知って欲しい。
- ・バスに日中乗っているが、平日でも歩行者天国かというような歩き方で何度も何度もバスが止まっている。
マナーが悪く、大きな車で来る観光客も多い。バスが遠慮しているような事になっている。
- ・観光客を呼び込むのであれば、伊根の交通の面をもっと考えてもらわないと困る。
- ・子供たちのグラウンドに車が入るのは危ない。子供達の遊び場がなくなる。小学校のグラウンドは駐車場にするべきではない。
- ・図書館の駐車場が遠いので気軽に立ち寄れる感じがしない。

○○渋滞に関する住民からの解決策案と意見○○

- ・飲食店も待たされることが多いし、解決策として小学校のグラウンドを駐車場にし、校舎の中にお土産物屋、飲食ができるようにしてはどうか？
- ・伊根中学校から下りて来て、ぐるっと一步通行にして一筆書きで回って帰るような渋滞を緩和する形を作れないか？
- ・伊根小学校のグラウンドを、車の多い時は駐車場にしてもいいのではないか？
グラウンドがダメならば小学校を移してそこに駐車場を作るべき。
- ・伊根小学校は完全に車の出入りはしてほしくない。外国人が校舎の中に入ろうとする人もいと聞いた。なので、あの場所に小学校がある以上、駐車場のグラウンド開放はやってはいけない。
- ・小学校を駐車場にしても出入りするときに結局、渋滞になるのではないか？
入口と出口を別の場所に作ってはどうか？
- ・図書館（伊根の杜）を建てるなら駐車場にした方が良かったのでは？

議員）重伝建の範囲に入っているので、民家を駐車場にはできない。

議員）昨日の伊根地区の語ろう会でも、16名の参加者があり、駐車場の問題が出た。

伊根小学校を駐車場にするという意見を本庄の議員が発言したとき、ほとんどの方が賛成していた。

伊根地区内でも反対される方もおられるので、大きな声では言いづらい雰囲気であった。

議員）伊根地区でも、観光協会付近の渋滞、駐車場問題が一番問題に上がっていた。

以下。大西駐車場と七面山駐車場で金額を変える案。

日出地区、朝妻地区に駐車場を作り、ピストン送迎をする案。

伊根小学校を駐車場にして小学校を移転、又は統合する話が出ている事を報告した。

報告）他にも伊根地区と同じような提案がたくさん出てきた。

- ・休日に役場に行った時、パークアンドライドの警備員3名と話しをした。

『周知不足で利用者がほとんどない。やることがなくて困っている』ということでした。

- ・パークアンドライドをもっと分かりやすくして、活用しないのか？

議員) 伊根地区でも同じような意見があった。パークアンドライドは「海の京都DMO」が実証実験でやっているのですが、一般の方から見れば伊根町も関係しているように見えるが、実際は伊根町とは関係がなく2か月間だけ実験でやっていること。

パークアンドライドの案内看板が小さく、警備員が3人立っているのも工事をしているようにしか見えないという意見があり、半月前ぐらいに新しく看板を設置した。

しかし、外国人には何かが書いてあるか分からないし「パークアンドライド」という言葉が意味が分からないことから、看板を改善しても成果があまり上がっていないのが現状。

- ・伊根町とは、関係ないと言っても敷地内でやっているからまったく関係なくはないのでは。

報告) 他、ほぼ伊根地区と同じようなやりとりがあった。

〇〇スクールバス、いねタクについて〇〇

- ・スクールバスの運営を京丹後市大宮町の業者に頼んでおられるが、来年の3月で期限が切れると聞いている。

大宮町に委託して町外にお金を落とすのではなく、町内でお金が落ちるようにしてほしい。

聞くとそういったスクールバスの業者が伊根町にないので仕方がないと。

広報や議会だよりも、次回からいねタクにこの業務をやってもらうという事で3年経った。

今後もしねタクがすると思っていたが、今まで同様に大宮町の業者がやると聞き、大宮町にも確認したが同じ答えでした。伊根町でするはずだったのでは？

運転手不足なのでは？と言われた。

スクールバスの運営の更新をすればするほど値段も上がると思うので、できればいねタクで運営してほしい。

また、与謝野町では役場が運営されている。これが一番安いと思うが役場で運行ができないのであれば、いねタクを活用してほしい。

私たちの税金をできるだけ町外へ出すような事のないようにしてほしい。

- ・与謝野町で出来ていることなので、伊根町でもできると思う。
- ・与謝野町、人口2万人もいるような地域と伊根町を一緒に考える事はできない。
- ・与謝野町と一緒にしてはいけないと言っても、伊根町が町内で必死になって運転手を探したようには思えない。条件が合えばやりたい人もいると思う。
- ・私はいないと思う。大型免許を持っているが、京丹後市の人から運転手としてきてほしいとよく言われる。また、朝夕の送り迎えだと時間が中途半端に拘束され、合間に仕事は難しい。
- ・町内であれば、登下校の時だけで1日縛られるわけでもないので、大丈夫なのでは？
- ・なかなか運転手を見つけるのは難しく、役場にあまり厳しく言いすぎるのもどうかと思う。
- ・スクールバスの件も、実際に伊根町内で運転する人がいない。

大宮町の業者じたい人手不足というのが現状。

- ・いない・やらないだろう、で行動に移さないのではなく、まずは探す努力をするべき。

真剣に探す努力もしないで、町外へ丸投げというのはおかしい。

- ・来年の3月までに見直すことはできないのか？

伊根町がいねタクで運営することで、大宮町の会社より良い条件になるかもしれない。

ドライバーがいなければ伊根町で声をかけて探してみては？

議員) スクールバスの更新の件は役場から正式には聞いていない。

診療所の統合で、いねタクの使用頻度もこれまでと比べ変わってくると予想される。

今後、まだまだ観光客が増える事もあり、スクールバスまで運営するのは難しいという理由ではないかと予想できる。

議員) 朝、いねタクで子供達を本庄小学校まで送っていると、住民の方から「いねタクに乗れない」という苦情の電話があったらしいと保護者の方から聞いたことがあったので、それも原因かもしれない。

議員) 予算を付けて提示するのは12月以降、3月当たり。

いねタクは町外に働きに出ている方が町内で働けるようにというのが発端で、ふるさと振興公社の交通事業を作り、いねタクを運営している経緯がある。行政からまだ報告は受けていないが、12月以降の議会で話があると思われる。

議員間でもしっかりと話し合っ、これから協議していく内容だと思う。

- ・役場の方に、いねタクの案内で英語版はあるのかと聞いたが、『外国人は相手にしていない』と言われたので観光客にもっといねタクを利用してもらうつもりがあるなら、おかしくないか？

議員) いねタクは公共交通で、公共交通は地域住民の為にある。

丹海バスも公共交通で、バス也大混雑している。

いねタクを観光客に宣伝してまで乗ってもらうことになる、住民の方が使いづらくなる恐れがあることを懸念されているのだと思う。

与謝野町のスクールバスの経緯は分からないが、パートの方を雇うのであれば話は違って来る。しかし、公務員がスクールバスの業務までやるのは高くつくと思われる。

〇〇本庄保育所の休所と新しい保育所の建設。保育所と小学校の統合について〇〇

- ・伊根小学校のすぐそばの商工会にトイレがあり、外国人の出入りが増えた。

安心して子供達が学校生活を送るためには、本庄へ小学校を持って行った方が良いのではないか？

- ・今度、伊根分校跡地にゴダイが来るが、同じ敷地内に保育所も建つと聞いた。

伊根町がこれだけ観光地になり外国人も含め観光客が増えている中、人の出入りも車の出入りも多くなる場所へ保育所を本当に建てようとしているのかと驚いている。

不安ではないのか？

- ・議員の方はゴダイの場所に保育所が出来て危ないとは思わないのか。

この計画をひっくり返してほしい。

議員) まだ保育所の場所が分校跡地に建つかは方向性であって決まっていない。

保育所を統合する事はデータを見て進めた事、決まっていな事を町民の方に知らせると混乱する事もあるので、ある程度内容を詰めてからしか伝えられない。

- ・ゴダイのそばに保育所を建てるのは大反対です。

保育所は地域の良さを見つける場所で、自然の中で散歩ができるのは本庄保育所の良さであり、ゴダイ付近は散歩するには適していない。

伊根小学校で、あれだけ観光客に写真を撮られるリスクを保護者が訴えていて、またゴダイへ来る沢山の車が行き来し安全面が懸念される中、さらにリスクが上がると思われる場所に保育所を建てるのは憤りを感じる。

- ・次の世代に対して、ゴダイの横に保育所があるような場所に子育てに帰っておいでとは言いつらい。強く反対する。

- ・分校跡地は伊根町内では特に事故の多い伊根トンネル付近でもある。

新聞にも載っていたが本当に大丈夫と言えるのか？

- ・本庄地区・筒川地区の幼児が、伊根まで毎日往復するのは子供のストレスになるのではないか？

- ・3年前、本庄保育所では園長先生が週3日しか来れない事について、事故や大怪我など何かあった時に責任者がいない日がある事に不安があること。また、共働きの家庭が増え、満2歳になってすぐ入所する事が難しかったり、2歳になってすぐは先生にも負担があると思い、10月入所も作って欲しいとお願いをした。

町長からはすぐ対応すると答えて頂いたが、次年度、保健福祉課に確認すると「それは知らない」という返答であったため、本庄保育所のサービスを向上してもらえると期待していたので残念でした。

- ・本庄保育所が休所するのも、該当する5世帯だけに手紙が来ていた。

手紙が届いてすぐ説明会をするのも、大切な内容なのに1週間しかタイムラグがないのはおかしいと思う。

将来的に子供を産みたい親も何人もいる中、そういった家庭には手紙が届いていなかった。

- ・説明会に行くと、「案」ではなく「決定事項です」と言われ、「保育所は10人いないと運営できないから」ということでした。

毎日本庄から伊根保育園へ預けていた頃、祖父母も手伝ってくれたが大変だった。

- ・新聞に載っていた本庄から伊根保育園まで約15分は嘘だと思う。

車から降ろし、子供の手を引きながら行くと15分では無理。30分近くかかります。

新聞記事の内容を「違った」と撤回してもらいたいくらい。

- ・10月の広報の本庄保育所、休所のお知らせもとても短い内容で終わっている。
- ・保育所の件は、議員を含め周りが知らない間に決定だけを急に告げられた事は大切な事なのにおかしい。
- ・今回の保育所の件は、未来がないと切り捨てられたように感じて、とても悲しくなった。
- ・本庄はまだこれから活気づくために子供を育てている。
伊根町の町づくりを町政と繋げて、一緒に協力して頑張っていきたい。
- ・保育所と小学校が隣り合わせにあるのは、教育上にも素晴らしい事で、本庄ならではの素晴らしさ。保育所は地域の宝なので、手紙一つで終わりはとても悲しい。
伊根町は、「子は宝」と言いながら、どう考えているのか分からなくなった。
- ・京都府は子育てNO.1を目指しているが、伊根町は子供にお金を使っているという感覚しかないように感じ、お金さえ出しておけば保護者に対しても子育てに関しても大丈夫という頭しかないのでは？
- ・お金だけでなく、心を動かされるような施策をしてもらわないと子育てNO.1ではないと思う。
- ・保育所の問題だけではないが、もっと細かく住民目線で対応して頂きたい。
- ・京都府が子育てNO.1を目指しているが、この状況を見ると伊根町は反していないか？
お金だけつぎ込むだけでは子育てNO.1にはならない。
子供に優しい環境を作り、地元の不安を取り除くために誠意を持って地域住民と話し合いをして政策をすすめるような事をしていかなないと、人口の少ない伊根町で今回のように周りの住民がほとんどまったく知らない間に進んでいて新聞で知るとするのはNO.1とは違うのでないか？
- ・新聞では「不安はない」と書いてあったが、不安や不満を取り除こうともせず理由を並べて無理矢理納得させようとしていないか？
- ・本庄保育所と本庄小学校が隣り合わせで、田植えや稲刈を小学生が体験をする時は、保育所の子供達が応援に来てくれる。
子供達を育てる中でこういった係わりができる事は子供達にとって、とても良い環境。
- ・地域のエゴでなく子供たちの事を考えると、本庄は地域密着ができる場所であり、開放的で
のびのびと教育ができる場所であると思う。
- ・中学校を含め、伊根小学校の場所は教育の環境としては、あまり向いてない場所でないか？
- ・合併問題は、今後の子供達の教育環境を話すには避けては通れない問題だと思う。

議員) 昔、伊根小学校と本庄小学校の合併の話が出た時、町民何人かで町内の意見を聞いて回った。

審議会で答申がでている内容だと、町民や議員が大きな熱量で役場と意見を交わし行動しないと、動かない。あの行動力がなかったら、とうの昔に小学校も中学校も伊根地区にいていただろう。

- ・なぜ伊根地区ばかりが中心になるのか？

町長は伊根地区の地域エゴが強すぎるのではないかと。「ええ町、伊根町」ではなく、伊根になっている。伊根町ではなく伊根しか見えていない。

- ・伊根小学校の場所は現地点では一等地になると思うが、あの場所を駐車場や観光施設にするのが、オーバーツーリズムの解決策に少なからずなると思う。
- ・新しい保育所ができるのに、なぜそれまでに本庄保育所を閉めるのか？

議員) 新しい保育園ができるまでの27年3月には伊根保育園に転園してくださいと書いてあった。

新しい保育園ができるまでに今の状態では定員オーバーだが後2,3年後には本庄保育所の子供達を受け入れる体制ができるから。

- ・保育園が離れると子供が病気になった時の問題も考えているのか？

与謝の海に子供を預かってくれる場所があるが、与謝の海まで行くのは働いている親にとっては、なかなか難しい。

議員) そういった問題を解決できないかと、安心ファミリーサポートという案も役場で上がっていたが、サポートの人員募集をしたが見つからなかった事と、ファミリーサポートができたなら預けますかと町民の方に聞いたところ、預けますという回答がなかったため、この時はその制度の案はなくなった。

議員) 保護者の方に聞くと、伊根地区に憧れて来たが実際、本庄地区や野室地区、新井崎、蒲

入地区のほうが住んでみると良かったという人も多い。

移住者の方はほとんど町内に祖父母がいないので、保育園が遠くても前後30分早くみてもらえたら助かるという意見があった。

合併するなら保育園が1つにまとまるので、今までより1時間は延長できるはず。

しっかりと利用者が理解・納得できるサービスの向上がない限りは、合併する意味がなく、そうでないと合併は認められない。

- ・個人の意見としては、送り迎えやガソリン代、仕事の事を考えると保育所は残してほしい。子供達は小学校まで人数が少なくても楽しんでいる。デメリットはないと思っている。少人数でも残してほしい。
- ・保育所に手伝いに行っているが、先生にとっては3人の子供達を2人ぐらいの先生でみる事は、家で子供達を育てるような事なので楽ではあると思う。ですが、子供達も少人数と大人数で遊ぶのとでは遊ぶ内容も違ってくる。多い人数で遊ばせてあげたい。
- ・筒川と本庄地区の小学校が合併した時、吸収される筒川の保護者は大反対していたが、合併したとき子供達が生き生きして、とても喜んでいた事を思い出した。親の思いと、子供の思いは違う事がある。子供達だけで遊ぶのと少人数で先生も入って遊ぶのでは大きな違いが出てくる。
- ・蒲入は長い間、人数が少なくても小学校が廃校にならなかった。だから本庄小が統合しなくてもやろうと思えば残していけると思う。

議員) 人数が少なくても預けやすい地域に小学校も保育園もあった方が良いと思う。

保育所を仮に1つにするなら、小学校も1つにするべき。

保育所で一緒だった子供達が小学校で分かれ、また中学校で一緒になるというのはおかしい。

- ・養老での話ですが、養老中がなくなり子供たちは橋立中学校へ行ったが、養老の保護者は『伊根中が良かった』という意見があった。

宮津市としても反対の様子もなかったので、養老も伊根中学校へ来てもいいのではと思った。

議員) 去年、子供の教育の審議会では PTA の代表の方々の意見では、本庄の中でも「このまま統合しない」という意見と、「子供たちの事を思うと大人数で遊ばせてあげたい、早く統合を希望する」という意見とで分かれていた。

今日この場に意見を伝えに来られて思いが強い事を感じたが、本庄の中でも意見が分かれてしまっているのでは話し合いが必要だと感じた。

〇〇本庄診療所についてと役場の対応、議員の仕事について〇〇

- ・本庄診療所もなくなる事になったが、議員の方達は診療所がなくなるのが決定する前に町民へ伝える努力をしないといけない。
 - ・全て決まってから、いつも住民が知るというのでは『議員は何をやっている?』『何でもかんでも受け入れて聞いているだけ?』と思わざるをえない。議員の動きが見えない。
 - ・議員の方に聞きたい。町が色々と提案をしたら、議員は「そうですか」と「yes マン」になっているのか?町の提案は何でも通っている。
 - ・議員が yes マンになり反対もしない。だから何をやっているか仕事も見えない。
- 町民の意見を待つだけでなく、議員の皆さん同士で集まり意見を出し合い、町政へ投げかけてちゃんと討論できる議員であってほしい。
- 町政へ立ち向かえる議員でないと、地域はついていけない。そうすれば報酬も上がると思う。

議員) 総務委員長をやっていて診療所統合の運営協議会に出席しているが、私が議員になる前から「何年を目途に統合する」と協議会の委員全員賛成で決定した経緯がある。

課長、行政からの説明もあり、処方箋が1つの診療所になることでゴダイが来てくれる事になった。そうすると買い物支援もしやすくなり、看護師不足も緩和が予想され、総合的に考えた上で統合するしかないのではと意見がまとまった。

- ・本庄診療所がなくなると、区長会で聞いた。本庄地区・筒川地区は年寄りが多いが、全て伊根に持って行くと、本庄・筒川の過疎化がもっと進む気がしている。

議員) 診療所の話は、事前に町でもパブリックコメントで本当にやってもいいか聞き取りをしていて、議員も周りに話す事もしていた。しかしパブリックコメントには一切意見がなく、話を進める事になった。

パブリックコメントに書かない事も悪いが、今の高齢率の高い伊根町では、丁寧に町民の声を聴いていく方法をとらないといけないという沢山の意見をいただいている。

この意見を行動に移すように持っていけない事は、議員の責任でもある。

情報を流す方も受け取る方もうまく噛み合っておらず、議員はこまめに発信しないといけない。大きな役割だと思う。

・伊根町よりずいぶん人口が多い宮津市は、地区の寄り合いの日時を聞き、確認してからその場所へ説明に行く。そこが伊根町と違う。だから宮津市は市がやろうとしている事が市民に浸透していく。伊根町の行政は発信すればそれでいいと思っていないか？

見ない者が悪いと思っているとしか思えない。

” いねばん” になってからこういった事が多いように思う。

伊根町内に住んでいるのは若い人ばかりでなく、毎日忙しく働いている人達がこまめに細部まで” いねばん” を見てはいない。

ちゃんと” いねばん” を細部まで見ていない方が悪いと言われればそこまでだが、行政がしようと思っていることを町民に分かってもらおうと思っているならば、宮津市のように足を運び説明するべきだと思う。伊根町は宮津市より人口も少ないのだから、宮津市より伝わりやすいはず。

議員) お互い様のところもあり、お互いが向かい合っていないままではうまくいかない。

・『言いましたよ』『聞いていない』『見ていない方が悪いです』というのは、町民に伝わった事にはならない。

言ったからではなく、聞いてもらわないと始まらない。反対か賛成かにしても町民に聞いてもらう努力をしないといけない。

・” いねばん” で『熊が出ました』と『保育所が無くなります』が同じレベルの発信になって
い

る。内容の重さが違う。地域へ関わる内容のレベルが違っても同じように” いねばん” で
流して終わりは間違っている。

議員) 『HPに出ていますよ』『広報に出しましたよ』何もしていないわけではないと町政は言
われるが、それだけでは伝わっていないと言い続けてきた。しかし改善されずほとんど
伝わっていないと感じている。

・役場の方が親身になって、地元に着した地域の問題・悩みを、もっともっと拾える場を設
ける事が必要であると思う。

議員) 議員が地域の方の言葉を町政へ伝える事も大事ですが、役場と町民が話し合いをできる
場を作り、町の方に直接伝えられるような場を作るのも大事だと感じた。

・議員の仕事は町民の声を吸い上げ町政に伝えること。議員がこうやって懇談会をしてくれる
のだから、それぞれの地域の意見を吸い上げ、町長に一度見てもらい、地域と役場との懇談
会が必要か、など決めて実行して欲しい。

議員) 伊根地区で学童の新しい建物を設置する計画を議会も可決したが、その後、町民の方々
が役場に直接声を届けて新しい建物の場所と建物の内容が変更になった事が最近あった。

議員) こういう場は良い機会ですが、議員だけでは対応できない部分もある。

緊急性を要する事は行政側に直接言う必要があるが、地域のそれぞれの関係する組織で
問題や要望をまとめ、議員と一緒に行動するとか、区長協議会を通じて要望を言って頂
く事が良い事もある。

要望を議員だけで伝えても、町民から上がってきていないと、返されることもある。

区長協議が言っていると伝えると動きがあったりする。

- ・議員は町民の代表機関であるが、町民から聞いていないと町政が取り合わないと言う事は、議員としての資格を否定しているくらい、下に見られていないか？
私としては区長さんより、議員の方が上の立場だと思っているのだが。

〇〇” いねばん” について〇〇

- ・“いねばん” を配り説明もした。使っていない人がいる事を役場は把握しているが、なぜそれを是正しないのか？
1回の知らせで伝わらなかったなら1回の説明ではダメだと言う事。周りのほとんどの人が知る事で初めて伝えた事になる。
- ・” いねばん” は送られてきた内容を見て、町民も返事を返すことができる。意見交換をしようと思えばできるが、なぜそれをしないのか？
伝えて終わりではお互いの考えは伝わらない。
- ・一人暮らしの老人の安否確認ボタンを作ればいいのに、しない。

議員) 将来的にはそういった事が出来るようにするとされている。

まだ出来ていませんが、当初は寝たきりの方とも会話ができるテレビ電話をやると上げています。

- ・もう” いねばん” ができてだいぶ経つのでは？

議員) テレビ電話、動画は通信料が高く、まだ時間がかかるという事です。

Wi-fi を使うと役場の方で管理ができなくなる事、” いねばん” の立ち上げの担当者が今この担当から外れているのも遅れの原因。どんな事もですが、担当者の熱量があるかないかで、ぜんぜん違ってくる。

- ・もうすぐ” いねばん” が更新の時期ですが、ランニングコストが高いため個人のタブレットやスマホなどを使わせてほしいという話が出ていると聞いた。

大きな予算を使わずに個人のスマホなどを使わせてもらえばいいと思っている。

こういった内容も町民にはまったく見えていない。

予算も大きな数字でくくってあり、何が何に使われているのか分からず町民は評価できない。そのような中で何か問題が起きると、何があったのか？何が起こっているのかと知る事となる。

議員) 個人のやりとりは、今のタブレットの” いねばん” ではできるが、携帯の” いねばん” ではできないので、そこを改善することが大きな課題。

・外の市町村を見ている、防災無線は必要だと思う。(多数の同じ意見があった)

議員) 防災無線はお金がかかり、長く無線を使用するとお金が安くなると聞いている。

” いねばん” は独居老人のテレビ電話での安全確認ができる事が一番の目的であったが、次の更新時に出来ていなければ、失敗の部分があるという事になる。” いねばん” を使う事に賛成した議員の責任でもある。

〇〇伊根町の産業と地域整備について。その他〇〇

・町政は観光以外、産業の事をどう思っているのか？農業に関しては曲がり角にきている。

今後、何をしたいこうというのか全然見えない。具体的に、根本的に考えてほしい。

就農フェアで外に出てチラシを配るだけ。

今のままでは10年後には農業は潰れる状態になってしまう。

この問題は真剣に考えてもらいたい。議員にも真剣に働きかけてもらいたい。

伊根町は子供がいなくなっても潰れるが、産業がなくなれば観光だけでは伊根は潰れる。

・観光が栄えれば農業も漁業も栄えると言われるが、セクションセクションでしっかりスクラムを組み、担当者やサポーターが育っていく中で、一緒に同じ目線で行動してくれる職員が必要だと伝えたが、そんな事だけではうまくいかないと言われた。

何でもやってみないと分からない。

- ・『やってみないと』でなく、どんな事でもやらないといけない。

行動に移さないと見えてこない事はたくさんある。産業と人間を育てる事業をやっていかな
いと、今の観光だけに力を入れていては伊根町は潰れる。

- ・職員が地域の事が見えていないから、町民が必死で伝えても伝わらない。
- ・地域整備課でも人材育成や産業を強くするための事は何も考えていないように感じる。
- ・目立つ事を好んでするのではなく、地道な努力が必要。

この5年10年でどうなるか分からない。

- ・70歳の我々が「若い」と言われ、当てにされるのではいけない。
- ・役場の職員が外へ出て、足を運び、目で見て体験して、地域と係わり、一緒に真剣に考え勉強してくれる職員を育てる事が大切。
- ・担当職員が国の事業なり、府の事業を把握出来ていない。職員に聞いてもしっかりとした答えが返ってこない。

- ・先日、ゴミが多すぎて取りに来てもらえないかと役場に連絡したが、対応した20年以上役場に勤めている職員が、伊根町の地図を見ないと場所が分からないというのは伊根町の事を真剣に考えてくれているのかと疑問に思う。腹が立った。

全ての職員ではないと思うが、こういう事から合併・統合の問題も真剣に考えてくれている職員の方は少ないように感じる。

- ・携帯電話が伊根町で使えない場所がある。そのことを町長も知っていたが、民間事業なので分からない、町としては何もできないと言われた。

伊根町の防災計画を読んだがその中にNTTやauの職員の名前もあった。と言う事はつてがあるのでは？

通じない場所で何かあった時、その地域の方が困る。

- ・蒲入地区、筒川地区では停電の問題が多い。蒲入では24時間停電が続くこともある。

議員) 防災や安心安全の面で提案すると動き出すと思う。

- ・電線が長延を周っているから切れる。トンネルの中を通してくれれば解決する話だと思うので、防災の中に含めて提案してほしい。
- ・予算の中でも一番多く占める地方交付税による財源が一番多い。

R6年度の決算では19億入っていた。昔は14億ぐらいだったので増えている。

予算執行には義務的な経費と、採用的経費がある。町長がこういった政策で使いたいという事で使うお金が採用的経費である。

伊根町の若い世代の方々にお金を投じるような政策に採用的予算を回してもらえるように議員さんに頑張ってほしい。

●筒川地区

質問・意見等

○桜が丘のグラウンドは使用料を払わないと使えない。注意される。もう少し緩い形でもよいのではないか。

○本庄公民館の備品管理がしっかりできていないように思うが、どうなっているのか。

○役場は女性の管理者登用をもっと進めてもいいのではないか。会計年度任用職員が多いが

○議員のなり手不足が全国的にも問題になっており、定数を満たすために家族、親戚をかき集めた自治体もあったが、伊根町はどうか。

○町外からの移住者が立候補してくれれば雰囲気も変わるのではないか。

○小学校の統合の話はどうなっているのか、保育所もなくなる方向、診療所もなくなる、、、。

○越山一本坂間の工事はいつ終わるのか。